



Ultra Sonic Boom™ キット

Multi-Pro® 5800 ターフスプレーヤ

モデル番号41615-シリアル番号 311000001 以上

取り付け要領

このアタッチメントは、起伏のある地表面を走行しながら液剤の散布を行う場合にブームに取り付けたノズルと地表面との距離を一定に保持するものであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、ゴルフ場、公園、スポーツフィールドや商用目的で使用される芝生に液剤を散布することを主たる目的として製造されており、この製品は弊社が設計製造した装置と共に使用することを前提として製造されています。

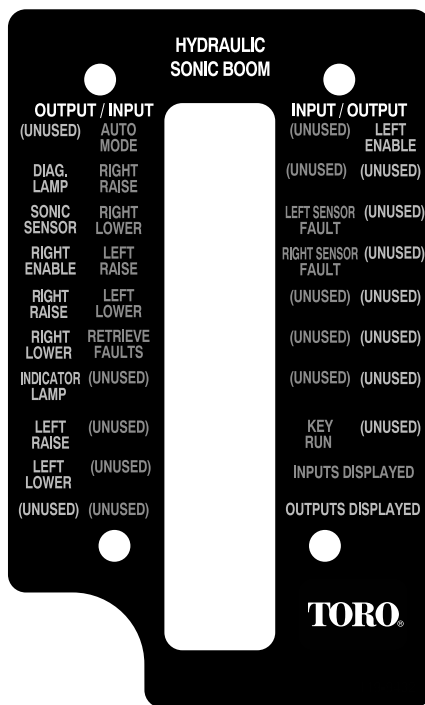
この製品は、関連するEU規制に適合しています；詳細については、DOC シート（規格適合証明書）をご覧ください。

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



119-9432

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	蝶番 アングルストラップ(カバーなしブーム用) アングルストラップ(カバー付きブーム用) 上または下用ストラップ 圧縮スプリング ブッシュ 六角ヘッドボルト(5/16 x 3-1/4 インチ) 平ワッシャ ロックナット(5/16 インチ)	2 2 2 2 4 8 4 12 4	センサー取り付け用の金具類を組み立てます。
3	油圧マニホールドブロック 油圧フィッティング	1 4	ブームの準備を行います。
4	ブームのクレードルアーム	2	ブームのクレードルアームを交換します。
5	ソニックブームのセンサー ブラケット プログラミングプラグ センサーカバー 下側センサーハウジング キャップチューブ センサーガードブラケット センサーケーブル(4 m) 大きいナット Uボルト ロックナット(1/4 インチ) ボルト(5/16 x 3/4 インチ) ボルト(5/16 x 1-1/4 インチ) ロックナット(5/16 インチ) ケーブルタイ	2 2 2 2 2 2 2 2 4 6 8 8 4 12 12	ソニックブームのセンサーを取り付けます。
6	電子コントローラ 取り付けブラケット ボルト(1/4 x 1-1/8 inch) ロックナット(1/4 インチ)	1 1 4 4	電子コントロールを取り付ける
7	ワイヤハーネス ロッカースイッチ インジケータランプ ケーブル・タイ	1 1 1 12	スイッチ類を取り付ける。
8	必要なパーツはありません。	–	ソニックブームの調整

注 デカル 119-9432 は携帯診断ツールと共に使用するものであり、スプレーヤ本体には付属しておりません。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

平らな場所に駐車し、エンジンを停止し、キーを抜き取り、駐車ブレーキを掛ける。

▲ 注意

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでもエンジンを始動させることができ、危険である。

キットを取り付ける前に、必ず始動キーを抜いておくこと。

2

センサー取り付け用の金具類を組み立てる

この作業に必要なパーツ

2	蝶番
2	アングルストラップ(カバーなしブーム用)
2	アングルストラップ(カバー付きブーム用)
2	上または下用ストラップ
4	圧縮スプリング
8	ブッシュ
4	六角ヘッドボルト(5/16 x 3-1/4 インチ)
12	平ワッシャ
4	ロックナット(5/16 インチ)

手順

注 ブームカバー・キット (モデル 41602) を取り付けるかどうかによって、センサー取り付け金具の組み立て方法が異なりますからご注意ください。

1. 蝶番とストラップを、図 1 (カバー無しブーム用) または 図 2 (カバー付きブーム用) のように配置する。

注 付属部品の中には2本組になったアングルストラップが2種類入っています。ひと組はカバー付きブーム用、もうひと組はカバー無しブーム用です。これらのうち、実際に必要となるのはどちらか一方のみであり、残り (カバー付きブーム用またはカバー無しブーム用) は使用しません。

注 カバー無し用の上用ストラップは、カバー付き用の下用ストラップとして使用します。

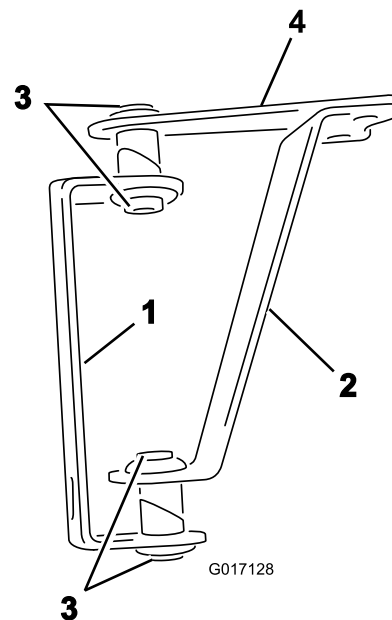


図 1

カバーなしブーム用

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 蝶番(2個) | 3. ブッシュ(8個) |
| 2. アングルストラップ(2本) | 4. 上用ストラップ |

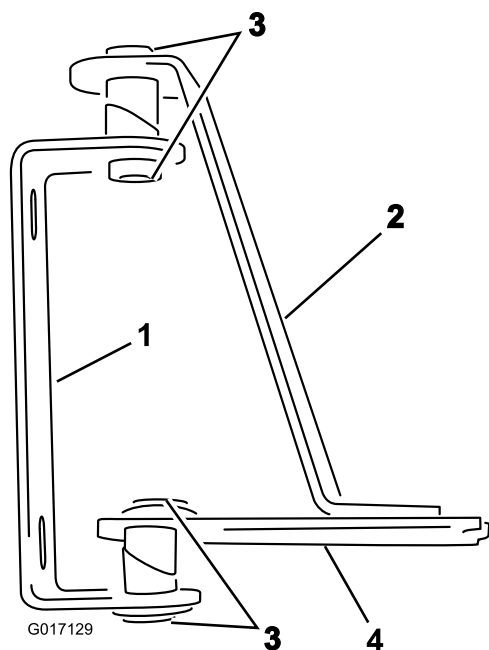


図 2
カバー付きブーム用

- 1. 蝶番(2個) 3. ブッシュ(8個)
- 2. アングルストラップ(2本) 4. 下用ストラップ

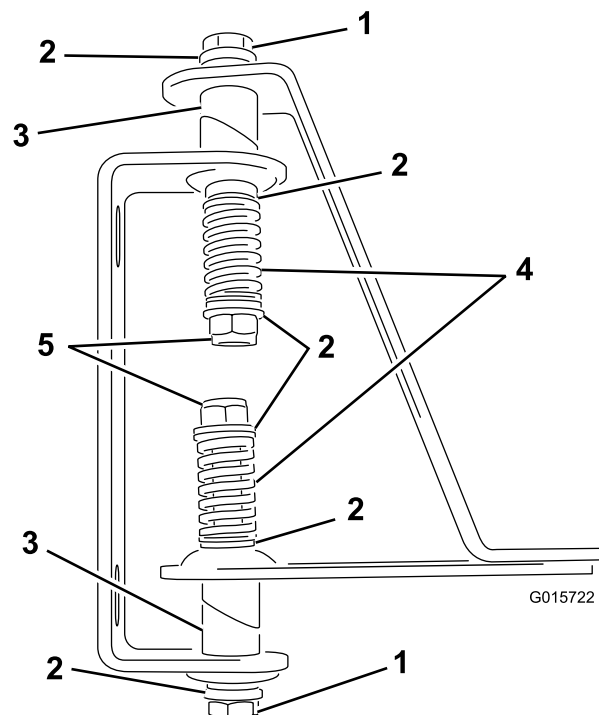


図 3
図はカバー付きブーム用のもの

- 1. 六角ヘッドボルト 4. スプリング
- 2. 平ワッシャ 5. ロックナット(5/16 インチ)
- 3. 溶接されているチューブ

- 2. ヒンジとストラップに溶接されているチューブに、図 1 または 図 2 のようにブッシュを差し込む。
- 3. 2 本ある六角ヘッドボルト (3-1/4 インチ) のそれぞれに平ワッシャを通す。
- 4. 蝶番に溶接されているチューブ、蝶番、ストラップにボルトを通す (図 3)。

- 5. 各ボルトの、先端部に平ワッシャを通す。
- 6. 各ボルトの端部にスプリングを取り付ける (図 3)。
- 7. 各ボルトの端部に平ワッシャとロックナットを通し、スプリングにたるみがなくなるまでロックナットを締める。

注 蝶番がきつすぎないこと、取り付けられているセンサーが蝶番上で自由に首振りできることを確認する。

3

ブームの準備を行う

この作業に必要なパーツ

1	油圧マニホールドブロック
4	油圧フィッティング

手順

ブームは水平位置よりも下に下がらないように調整してあります。この調整状態では、ウルト

ラソニックブーム・キットで、地表からのノズルの高さを一定に保持しようとする場合、水平よりも下がった地表面に対してブームを追従させることができません：そのような条件でこのキットを使用する場合には、ブームを水平位置より下まで下げられるように調整する必要があります。

1. ブームを上昇させ、移動走行用クレードルに収納する。
2. 各ブームから、ヘアピンコッターを抜き取り、ブームピボットピンのハウジングからロッドを外す（図 4）。

注 アイの部分のねじ山が 15 mm 以上露出しているとねじが外れてロッドが脱落する危険がありますから注意してください。

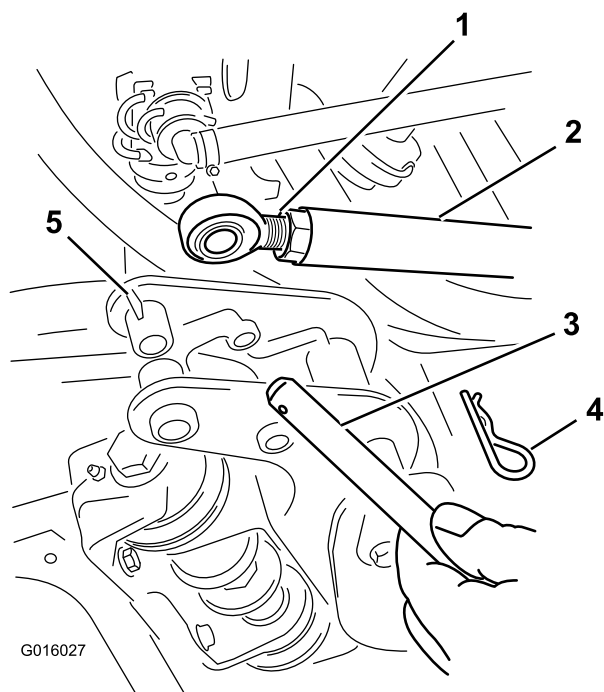


図 4

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 露出しているねじ山が 15 mm 以下でなければならない | 4. ヘアピンコッター |
| 2. ロッド | 5. ブームピボットピンのハウジング |
| 3. ピン | |

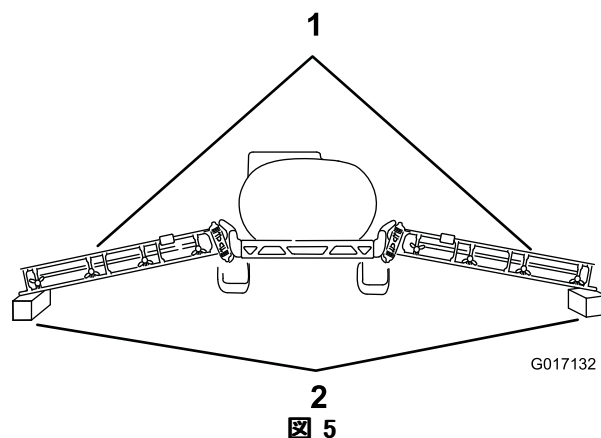


図 5

- | | |
|--------|-------|
| 1. ブーム | 2. 角材 |
|--------|-------|

4. エンジンを開始し、アクチュエータを最大に伸ばす。
5. 各ロッドのジャムナットをゆるめる。
6. 各ロッドについているアイレットをゆるみ方向にまわしてアイレットの穴をブームピボットピンのハウジングの穴に合わせる。
7. 各ブームについて、先ほどのステップ 2 で外したピンをブームピボットピンハウジングとアイレットの穴に通す。
8. 先ほどのステップ 2 で取り外したヘアピンコッターでピンを固定する。
9. 各ロッドについているジャムナットを手締めする。
10. 油圧ブロックカバープレートを外す。
11. 油圧マニホールドブロックに接続されているホースすべてに識別用のラベルを取り付け（ポートC1～C4）、これらのホースをブロックから外す。

注 右側と計器用ポートの2つの油圧コネクタをゆるめる（図 6）。

3. 各ブームを角材の上に、約 10 cm 浮かせた状態に注意深く降ろす（図 5）。

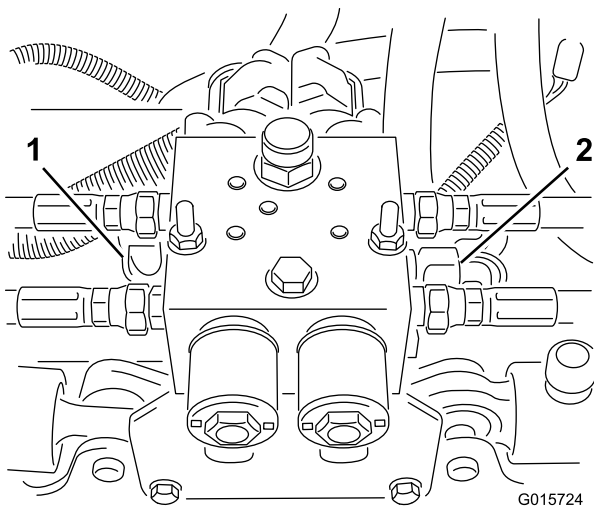


図 6

1. 計器用ポート

2. 油圧コネクタ

4

ブームのクレードルアームを交換する

この作業に必要なパーツ

2

ブームのクレードルアーム

手順

新しいクレードルアームは、ブームを折りたたんだときに、ブーム同士が接触しない状態に保持しますので、ブームに取り付けたセンサーを傷つける心配がありません。

1. 既存のクレードルアーム（2本）を取り外す；ボルトとナットを抜けば取り外せる（図 7）。

注 取り外したボルトとナットは新しいクレードルアームの取り付けに使用する。

12. 油圧ブロックを取り付けブラケットに固定しているボルト（2本）とロックナット（2個）を外して、油圧ブロックを取り外す。

注 各ボルト・ナットは捨てないこと。

13. 古いマニホールドブロックのポートと計器用ポートについている油圧コネクタ 2 個を取り外し、これらを新しい油圧マニホールドブロックに取り付ける。
14. 先ほど取り外したボルト（2本）とロックナット（2個）を使って、新しい油圧マニホールドブロックを取り付けブラケットに固定する。
15. 計器用ポートと油圧コネクタ（2個）の締め付けを行う。
16. ブロックについているフィッティングすべての締め付けを行う。
17. ブロックについているフィッティングにホースを接続する。

重要 ホースの取り付け位置を間違えないように注意してください。戻りフィルタからの 3/8 インチ・ホースの接続先は “T” ポート、もう 1 本の 3/8 インチ・ホースのコネクタは “P” ポートに接続します。ポート C1 と C3 はシリンダのベース側へ、ポート C2 と C4 はシリンダのロッド側に行くホースです。

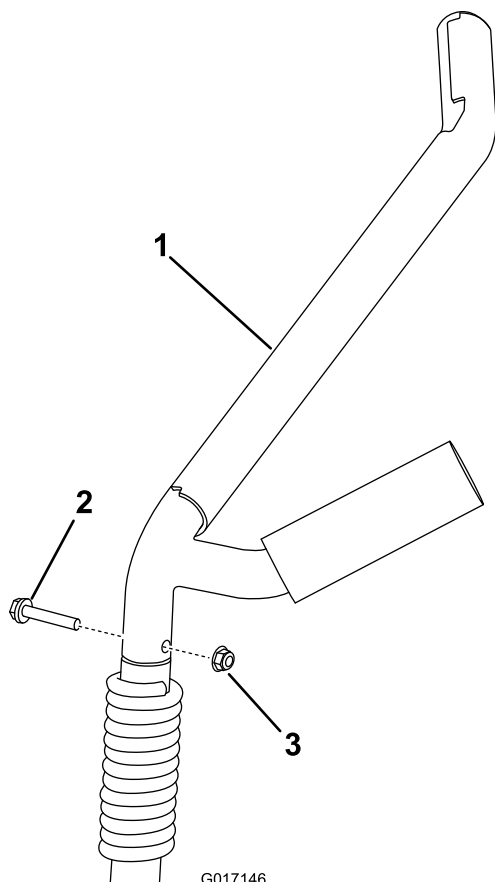
18. 油圧システムをパージする オペレーターズ マニュアルを参照のこと。

5

ソニックブームのセンサーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ソニックブームのセンサー
2	ブラケット
2	プログラミングプラグ
2	センサーカバー
2	下側センサーハウジング
2	キャップチューブ
2	センサーガードブラケット
2	センサーケーブル (4 m)
4	大きいナット
6	Uボルト
8	ロックナット (1/4 インチ)
8	ボルト (5/16 x 3/4 インチ)
4	ボルト (5/16 x 1-1/4 インチ)
12	ロックナット (5/16 インチ)
12	ケーブルタイ



G017146

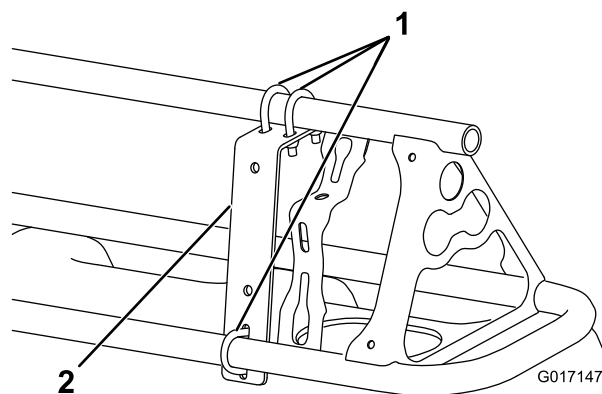
図 7

1. ブームのクレードルアーム 3. ナット (2個)
(2本)
2. ボルト (2本)

2. 新しいクレードルアームを取り付け、先ほど取り外したボルトとナットで固定する。

手順

1. 各ブームの一番外側のノズルの近くに、取り付けブラケットをブームの前側に取り付ける；U ボルト (3本)、ロックナット (6本) (1/4 インチ) (図 8 と 図 9)。



G017147

図 8

前から見た図

1. 取り付けブラケット (2個) 2. U ボルト (6本)

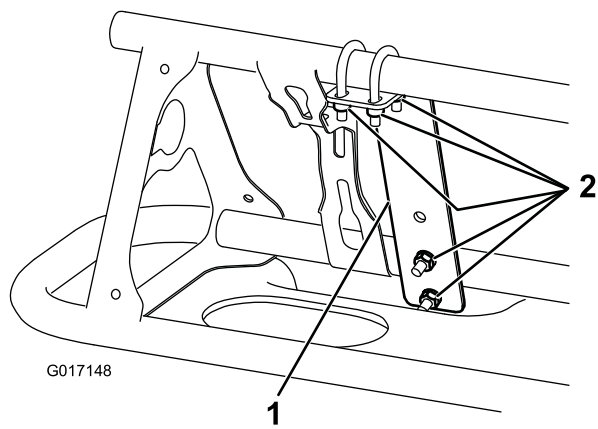


図 9

後から見た図

1. 取り付けブラケット(2個) 2. ロックナット(1/4 インチ)

2. 図 10 のように、取り付けブラケットにセンサーガードブラケットを取り付ける；ボルト（5/16 x 3/4 インチ）（2本）とフランジナット（5/16 インチ）（2個）を使用する。

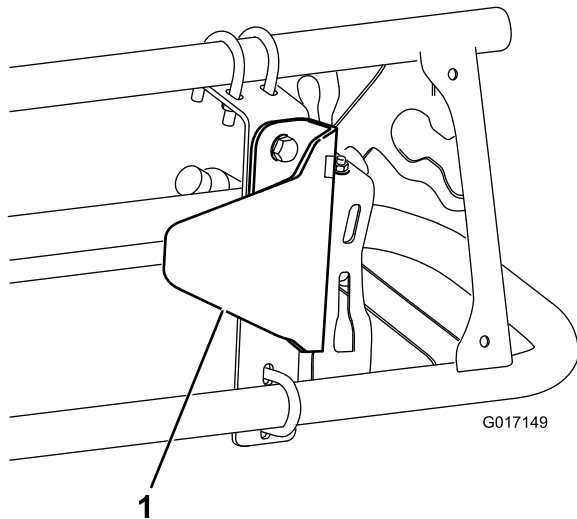


図 10

1. センサーガードブラケット

3. センサーガードブラケットにセンサー取り付け金具を取り付ける；ボルト（5/16 x 3/4 インチ）（2本）とロックナット（5/16 インチ）（2個）を使用する（カバー付きブームの場合は 図 11、カバー無しブームの場合は 図 12 を参照）。

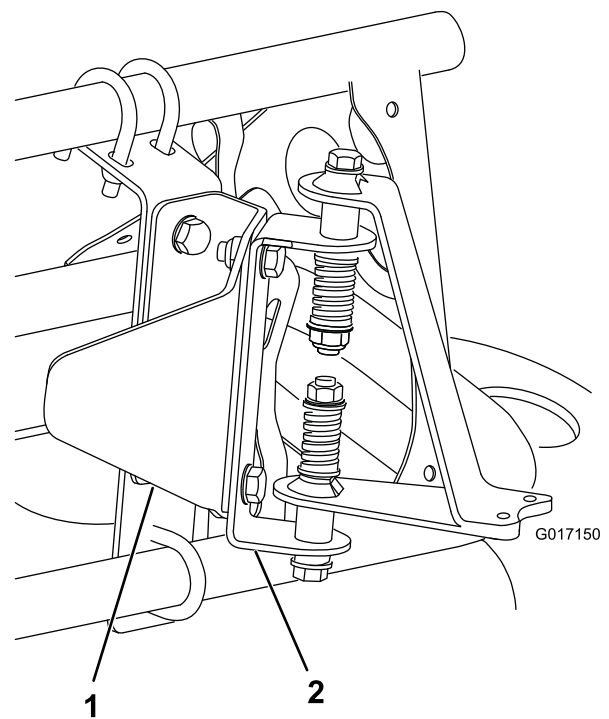


図 11

カバー付きブーム用

1. センサーガードブラケット 2. 蝶番(センサー取り付け用の金具の)

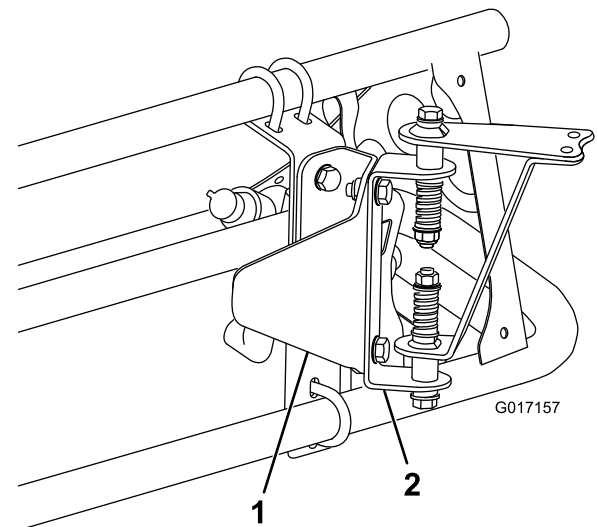


図 12

カバーなしブーム用

1. センサーガードブラケット 2. 蝶番(センサー取り付け用の金具の)

4. センサー取り付け用金具に下側センサーハウジングを取り付ける；ボルト（5/16 x 1/4 インチ）（2本）とロックナット（5/16 インチ）（2個）を使用する（図 13）。

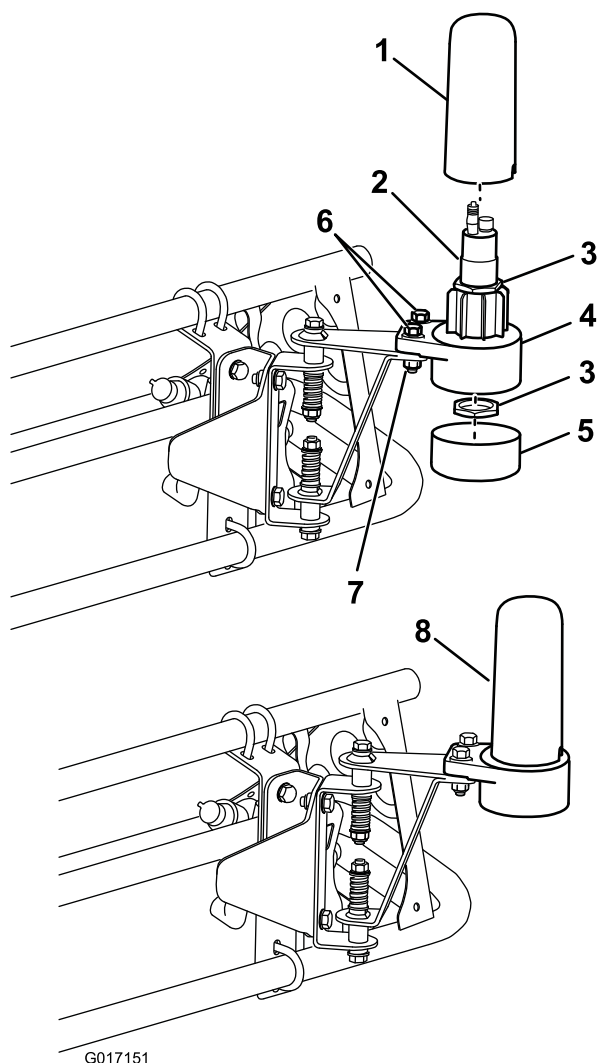


図 13

図はカバーなしブーム

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. カバー | 5. キャップチューブ |
| 2. センサー | 6. ボルト(5/16 x 1-1/4 インチ) |
| 3. 大きいナット | 7. ロックナット(5/16 インチ) |
| 4. 下側センサーハウジング | 8. センサー・アセンブリ(完成状態) |

5. センサーにプログラミングプラグを取り付ける (図 14)。

重要 側面の “T” の下にある矢印が、センサーの上面の縁についているノッチと整列していることを確認してください (図 14)。

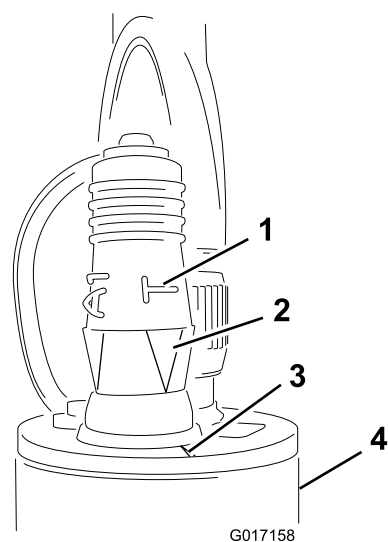


図 14

- | | |
|------------|---------|
| 1. 側面の “T” | 3. ノッチ |
| 2. 矢印が整列 | 4. センサー |

6. 下側センサーハウジングにセンサーを差し込んでセンサーに付属している大きいナット (2個) で固定する (図 13)。

注 センサーについてくるロックワッシャは捨てる。

7. キャップチューブとカバーを取り付ける (図 13)。

注 まず、カバーについている小さい穴にセンサーのコードを通してから、センサーカバーを取り付けてください。

8. センサーから出ているワイヤを、ケーブルタイをでブームに固定する。

重要 センサーがケーブルに邪魔されずに自由に首振りできるように、センサー部のワイヤに十分な余裕を持たせてください。

9. 他のブームについても、上記の手順を行う。

注 ブームカバー付きの場合のみ： センサーがカバーを検知しないようにする必要があります。キャリブレーション (初期調整) がうまくいかない場合、センサーがカバーを検知しているために動作不良となっていないか確認してください。

6

電子コントロールを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	電子コントローラ
1	取り付けブラケット
4	ボルト (1/4 x 1-1/8 inch)
4	ロックナット (1/4 インチ)

手順

1. 打ち抜き用プラグを打ち抜いて外す (図 15)。

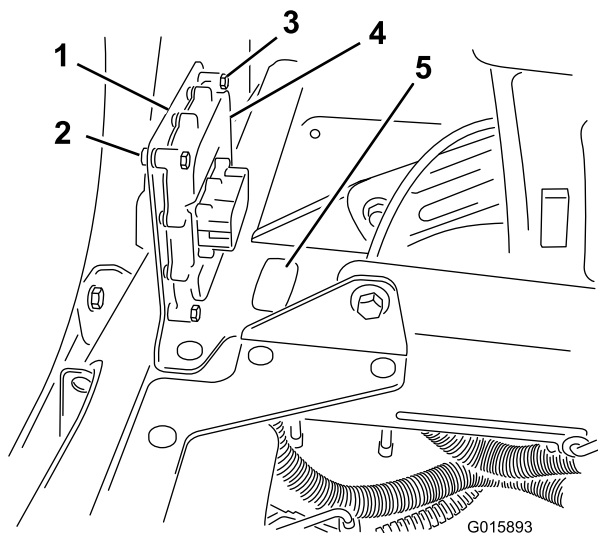


図 15

1. 取り付けブラケット
2. ロックナット (1/4 インチ)
3. ボルト (1/4 x 1-1/8 inch)
4. 電子コントローラ
5. 打ち抜きプラグ

2. 打ち抜いた穴に、ワイヤハーネスについている電子コントローラ用端子を通す (まだ端子とコントローラとを接続しないこと)。
3. 機体の座席フレームに (二つの座席の間の後部、すでに金具がついている) ブラケットを取り付ける (図 15)。
4. 取り付けブラケットにコントローラを固定する ; 六角ヘッドボルト (1/4 x 1-1/8 inch) とロックナット (4個) を使用する。

7

ワイヤハーネス、表示ランプ、スイッチを取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
1	ロッカースイッチ
1	インジケータランプ
12	ケーブル・タイ

ワイヤハーネスを電子コントローラ、アースブロック、主電源およびバッテリーに接続する

1. ワイヤハーネスについている端子を電子コントローラに接続し、六角レンチで固定する (図 16)。

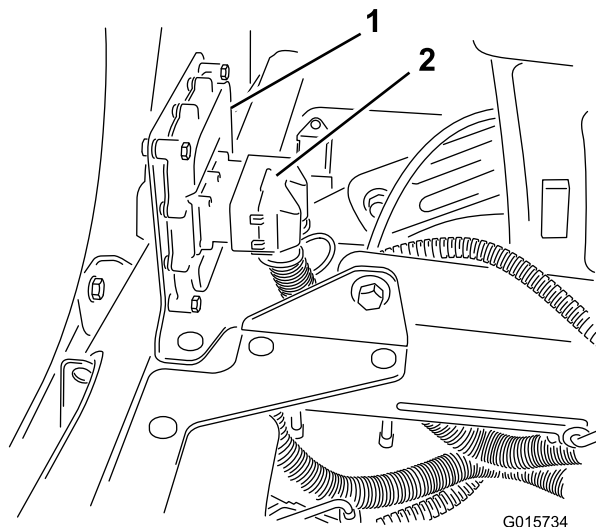


図 16

1. 電子コントローラ
2. 端子

注 コントローラの接続部にはキー溝がついており、正しい向きに入れないと接続できないようになっています。

2. ヒューズ部にアクセスできるように運転席を倒す。
3. 車両についているヒューズブロックを探し出し、このヒューズブロックの底部に、ワイヤハーネスからきている新しいヒューズブロックを固定する (図 17)。

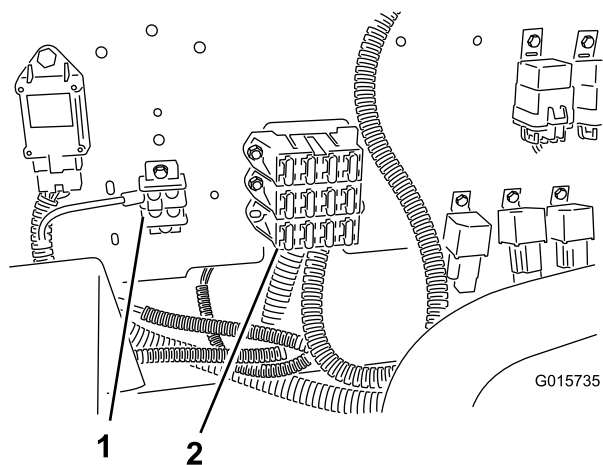


図 17

1. アース端子ブロック 2. ヒューズブロック

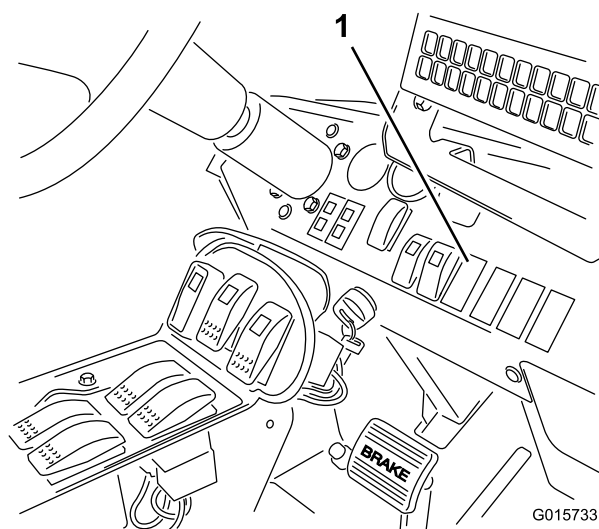


図 18

1. ダッシュボード上のプラグ

4. ワイヤハーネスについているアース用端子をアース用端子ブロックに接続する（図 17）。
5. 主電源（Main Power）というラベルのついていないワイヤハーネス側コネクタを、ヒューズブロックの近くにある主電源コネクタに接続する。
6. ワイヤハーネスについているバッテリー用端子を、バッテリーのプラス（+）端子に接続する。
7. 運転席を元に戻す。

ソニックブームのスイッチを取り付ける

1. ソニック・ブームのスイッチがついているワイヤハーネスをダッシュボードの下へ引き込む。
2. 図 18 に示すように、ダッシュボードのスイッチ取り付け位置をふさいでいるプラグを打ち抜く。

3. できた穴に、スイッチを取り付ける。
4. ワイヤハーネスについているスイッチコネクタをスイッチに接続する。

表示ランプを取り付けてスイッチを接続する。

1. 中央コンソールの右サイドカバーについているボルト（5本）を外して、このカバーを外す。
2. 左右のブームをコントロールしている既存のブーム昇降スイッチ（2個）の接続を外す。

注 古いワイヤハーネスから外したコネクタは反対向きに固定しておいてください。

3. プラグを外し、コンソールにできた穴に表示ランプをはめこむ。
4. 表示ランプを、ハーネスについているコネクタに接続する。
5. ブーム昇降スイッチ（ロッカー・スイッチ；2個）を、ワイヤハーネスについているコネクタに接続する。

注 ワイヤハーネス側の 2 つのコネクタには、左ブーム昇降（Left Boom Raise/Lower）、右ブーム昇降（Right Boom Raise/Lower）というラベルがついています。

6. 中央コンソールの右サイドカバーを元通りに取り付ける（先ほどのステップ 1 で外したボルトを使用する）。
7. ワイヤ・ハーネスを、他の配線やホースに沿って車両後部まで正しく配線する。

注 ケーブルタイを使ってワイヤハーネス同士を束ね、配線がエンジンやその他の稼動部に接触しないよう十分に離して配置する。

8. ワイヤハーネスについている左ブーム上昇用コネクタと下降用コネクタを、油圧ブロックの各ソレノイドバルブに接続する（図 19）。

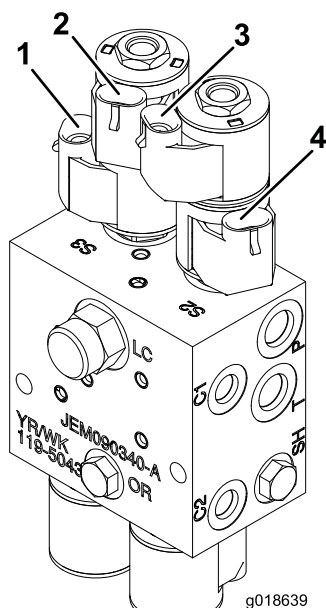


図 19

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 左ブーム(下降) | 3. 右ブーム(上昇) |
| 2. 左ブーム(上昇) | 4. 右ブーム(下降) |

注 ワイヤハーネス側のコネクタには、左ブーム上昇 (Left Boom Up)、左ブーム下降 (Left Boom/Down)、右ブーム上昇、右ブーム下降というラベルがついています。

注 これで、残っているコネクタは 2 つ（センサーの接続用）となっています。

9. “Right Enable” ワイヤと “Left Enable” ワイヤをケーブルタイで固定する。
10. 油圧ブロックの上に、取り付けプレートを取り付ける。

センサーを接続する

1. 各センサーからのワイヤを、ブームに沿って車両の後部中央まで配線する。
2. ケーブルタイを使ってセンサーのワイヤをブームに固定する。

注 センサーがケーブルに邪魔されずに自由に首振りできるように、センサー部のワイヤに十分な余裕を持たせてください。

3. 左右のセンサーのコネクタを、ワイヤハーネス側のコネクタ（それぞれ左用 “Left

Sonic Sensor” および右用 “Right Sonic Sensor” というラベルがついている）に接続する。

8

ソニックブームの調整

必要なパーツはありません。

手順

キャリブレーションモードは 20 秒間継続しますから、この間に調整操作を行ってください。調整操作後、20秒経過した時点におけるセンサー（ブーム）と地表との距離が、自動モードにおけるブーム高さ設定として記憶され、再設定されない限りこの値を使ってコントロールを行います。この20秒間の後、キットが自己調整プロセスを実施し、設定の読み込み、距離の検知、油圧シリンダバルブの動作特性などのデータを記憶しますが、これには約 2 分間かかります。

注 カバー無しブームの場合： 出荷時の高さ設定（ノズルから地表面までの高さ）は51 cmです。もし、出荷時の設定を変えた後に、設定を再び工場出荷時に戻したい場合には、ブームをクレードルにセットした状態でもう一度キャリブレーションモードを実行してください。

カバー付きブームの場合： 高さ設定（カバー無しの場合は51 cm）は、されていません。カバー付きブームでは、キャリブレーション作業が必ず必要になります。

1. 立ち木や建物や車両、ごみ、地下電線や配管などのない広くて平らな場所にスプレーヤを停車させる。
2. 各ブームを開いて水平状態にセットする。
3. イグニッションキーをOFFにする。
4. ダッシュボード上にあるソニックブームのスイッチを Auto にセットする（図 20）。

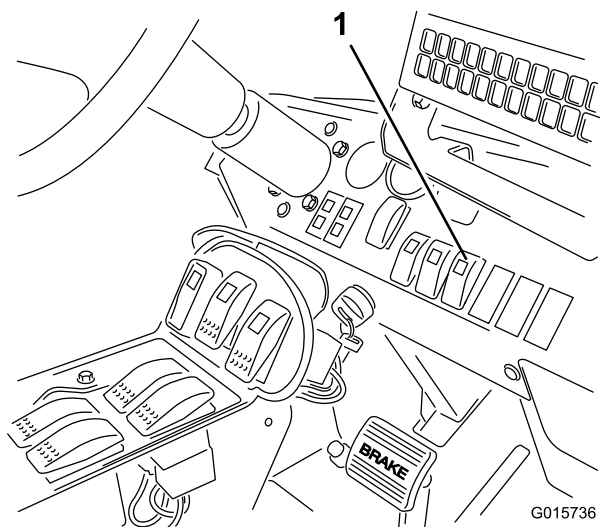


図 20

1. ソニックブームのスイッチ

5. 左ブーム下降スイッチと右ブーム上昇スイッチを両方とも押して保持した状態で、エンジンキーでエンジンを始動させる。
6. ブームスイッチから手を離す。

注 ソニックブームがキャリブレーションモード（設定モード）に入り、ソニックブームのスイッチについている緑色のランプが高速で点滅を始めます。この状態が20秒間継続しますので、この間にブーム上昇・下降ボタンを操作してブームを標準高さ（ブーム維持高さ）にセットしてください。20秒後、緑色のボタンの点滅が遅くなります。

7. 上昇スイッチと下降スイッチを使って、各ブームについているセンサーの地上高を希望の高さに調整する。
8. 調整が終了したら、ソニックブーム・キットが自動調整作業を終了し、ゆっくりと点滅している緑ランプが消えるまでしばらく待つ。

注 キットの自己調整プロセスには約 2 分かかりますこの間、センサーは測定を継続していますので、信号を乱さないように注意してください（例えばセンサーの下に手をかざしたりしないでください）。

運転操作

コントロールを使用する

ソニックブームスイッチ はダッシュボードにあり、自動と手動の切り替えを行うスイッチです。

- ・ **自動モード**：ブームが自動で動き、ブーム先端部をつねに地表面から同じ高さに保持します。自動モードにするには、ダッシュボードのスイッチを Auto 側に押し、ブーム下降スイッチでブームを希望の高さまで下降させてください。

注 自動運転中に、ブームスイッチを使って一時的に手動でコントロールすることもできます。自動モードで運転中に手動でブームを下降させたい場合には、ブーム下降ボタンでブームを希望する高さまで下げてください。自動モードで運転中に手動でブームを上昇させたい場合には、ブーム上昇ボタンでブームを希望する高さまで上げてください。左右のブームの一方だけを手動優先制御した場合には、他のブームは自動制御されます。自動モードに復帰するには、ブーム下降スイッチを操作してブームを希望する地上高にしてください。

- ・ **手動モード**：自動制御が解除され、ブームを手動で制御できるようになります。

ソニックブームランプ はソニックブームのスイッチについているランプで、システムの状態を以下のパターンで表示します：

- ・ **連続してON（点灯）**：ソニックブームシステムは ON 状態であり、正常に機能しています。
- ・ **高速で点滅**：システムはキャリブレーション状態です（このモードは20秒間継続します）。
- ・ **ゆっくり点滅**：システムにエラーが発生しています（または自動運転中に手動優先モードに入り、左右の一方または両方のブームを手動で操作している最中です）。

注 万ーソニックブームシステムに異常が発生した（例えばセンサーから信号が受信できない）場合には、ブームが上昇し、数秒後に停止し、ブームスイッチのランプ（ダッシュボード上のスイッチについているランプ）がゆっくり点滅を開始して、ブームが停止したことを知らせます。また、アームレストについているランプも点滅を開始してシステムの異常を知らせます。

表示ランプ は、アームコンソールについている小さい赤色のランプで、ソニックブームシステムの状態を以下のパターンで表示します：

- ・ **一時的に点灯**：ソニックブームシステムを作動させたときに一時的に点灯します。その後数秒で消灯し、システムが正常に作動している限り、その後はOFFのままとなります。
- ・ **点滅**：ソニックブーム・システムに異常が発見されました。

薬剤散布

重要 凹凸の非常に大きい場所では、ブームが地表をたたいてしまう危険がありますから、必ず減速してください。

保守

洗浄

センサーは湿った布で定期的にきれいに拭いてください。センサーが破損したりひどく汚れている場合は交換してください。

重要 センサーに水を掛けないでください。たとえ水道水程度の水圧でも、センサーを破損させる恐れがあります。スプレーヤを水洗いする際には、必ずセンサーに完全にカバーを掛けてください。

注 ブームをクレードルにセットしたままで長期間放置すると、各センサーの周囲を保護しているシールが上向きにされているために、これらのシールが紫外線を受けて徐々に劣化する可能性があります。センサーが日光に当たる場合には、可能な限り、センサーの底部に直射日光が当たらないように配慮してください。

格納保管

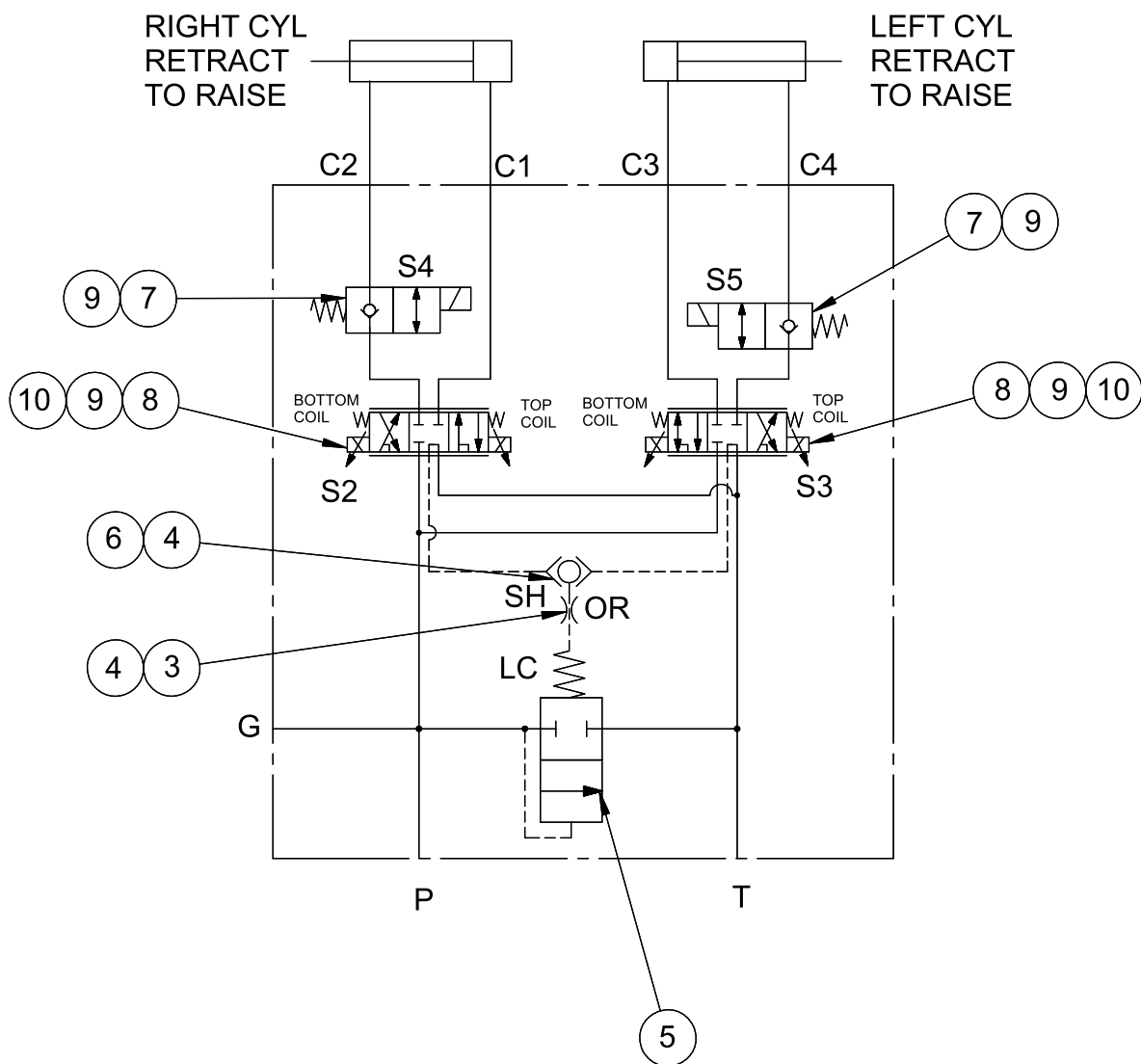
センサーをしばらく使用しない時には必ずセンサーに安全キャップを取り付けてセンサーを保護してください。

故障探究

注 詳細についてはサービスマニュアルを参照。

問題	考えられる原因	対策
両方または片方のブームが動作しない;ソニックブームランプは OFF。	1. ヒューズが飛んでいる。 2. ランプが切れている。 3. 電子コントローラまたは配線の不良。	1. ヒューズを交換する。 2. ランプを交換する。 3. Toro 正規代理店に連絡する。
両方または片方のブームが動作しない;ソニックブームランプはゆっくり点滅。	1. 小さなシステムエラーが発生した。 2. エラーをクリアしてもシステムエラーが繰り返し起こる。 3. 油圧または機械関連の不具合がある。	1. エラーが発生したブームを、ブームスイッチで一度降下させるとエラーがクリアされる。 2. エラーが繰り返し起こる場合にはToro 正規代理店に連絡する。 3. 油圧・機械関連の不具合を修正する。
両方または片方のブームが動作しない;ソニックブームランプは ON。	1. ゴム製のセンサーカバーがセンサーの邪魔をしている。	1. センサーの上にカバーを取り付ける。

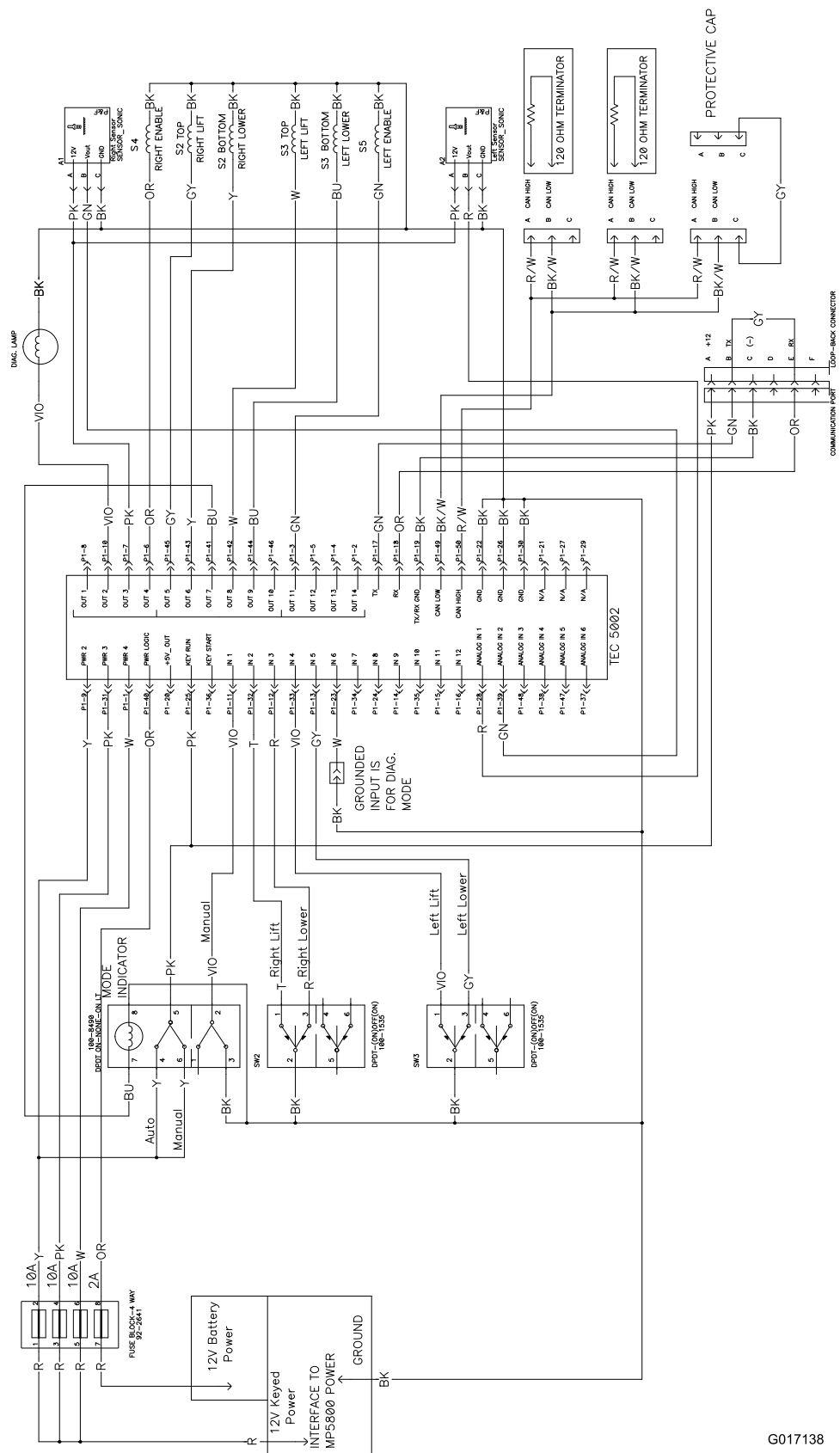
図面



VALVE S2	VALVE S3
S2 (BOTTOM COIL) = C1	S2 (BOTTOM COIL) = C3
S1 (TOP COIL) = C2	S1 (TOP COIL) = C4

G017133

油圧系統 (Rev. A)



電気系統 (Rev. A)

G017138

メモ:

メモ:



Count on it.